

栃木県立真岡高等学校天文部の活動方針及び年間活動計画等		
目標	○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○天文に対する知識を深め、普段の活動以外においても天文に関する情報を収集したり、各自観察をする。 ○活動をととして、生徒が心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○原則として水曜日を活動日とし、それ以外を休養日とする。 ○長期休業中(夏休み)は必要に応じて白布祭の準備に当たり、それ以外の日は休養日とする。	
活動時間	○原則として、一日の活動時間は、平日は1～2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		○天文新聞発行
5月		○天文新聞発行
6月		○天文新聞発行 ○白布祭準備
7月		○白布祭準備
8月		○ペルセウス座流星群(各自観測) ○観測結果報告 ○白布祭
9月		○天文新聞発行
10月		○天文新聞発行
11月		○しし座流星群(各自観測) ○観測結果報告 ○天文新聞発行
12月		○ふたご座流星群(各自観測) ○観測結果報告 ○天文新聞発行
1月		○天文新聞発行
2月		○天文新聞発行
3月		○天文新聞発行